

設計概要書

以下の工事を行うための実施設計を行う。

1. 目的

経年劣化に伴い、防水効果が低下し、雨漏りが頻繁に発生しており、また、外壁にも多数のクラックが発生し、また、シーリング材、パッキン等も劣化しているため、台風など暴風雨時には、窓枠サッシ周辺、扉下部等から雨漏りや雨水の侵入が発生していることから、屋根及び2階バルコニーの防水改修と共に、クラック補修及びシーリング、扉補修等を行う。

2. 施設概要

名 称：間崎島開発総合センター

建築年度：昭和63年

構 造：RC造 2階建

延べ面積：510m²

3. 設計内容

- 屋根改修 屋根不燃シングル葺、棟木、水切り等の改修を行う。
- バルコニー防水改修 バルコニー及び庇における、平場・立上り・笠木の防水改修を行う。
- 外壁改修 外壁タイル部及び塗装部、樋の改修を行う。
- 防水改修 打継目地、サッシ周りのシーリング改修
- 塗装改修 鋼製設備機器、配管等の塗装
- 建具改修 劣化建具の補修
- 内部改修 雨水の漏水による腐食箇所の改修

上記、内容について、現地調査後、適切な工法の検討を行うこと。

4. その他

- 外壁補修（モルタル・タイル等の欠損、ひび割れ、浮き）の範囲を確定する必要があるため、外部及び開口部から手の届く範囲については打診調査を行い、手の届かない範囲については目視調査を行うこと。
- 離島での工事になるため、仮設計画・工法については、海上運搬を念頭に行うこと。
- 設計詳細については、施工性、コスト等を比較し、監督職員と協議の上決定すること。